

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

複数測位衛星システムの衛星選択手法に関する研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土倉, 弘子 メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/1445

【課程博士】（博士論文審査及び最終試験の結果要旨）

学生氏名：土倉 弘子

博士論文題目：複数測位衛星システムの衛星選択手法に関する研究

博士論文審査：

学生から提出された博士論文について、公開発表会が2月17日に行われ、審査委員と学生の間で質疑応答が繰り返され、博士論文としての質を十分に確保しているとの結論に至った。特に、悪電波環境での衛星選択手法については各審査委員から高い評価を得た。

本研究は近未来の複数測位衛星システムにおける、良質な信号の衛星選択に関する論文で、特に各国の測位衛星を統合する手法と、衛星選択の部分について掘り下げている。各国の測位衛星を統合する部分では、まだ教科書等にも記載されていない内容を詳細に記述している。また新たな衛星選択手法を提案しており、誤差数 cm のレベルで測位する RTK については、既存の世界トップレベルの受信機を越える結果を出している。

これらの成果は、様々なテスト環境で性能が出るかの課題があるものの、今後の、衛星測位分野の発展にも大きく貢献する優れた研究といえる。

以上の内容から、学生から提出された博士論文は、国内外の研究の水準に照らし、各研究分野における学術的意義、新規性、独創性及び応用的価値を有しており、博士の学位に値することを審査委員一同確認した。

最終試験の結果要旨：

最終試験は2月17日に行われた。審査委員一同出席の下、学生に対して、博士論文の内容について最終確認のための質疑応答を行い、その内容は十分であった。一方、専門知識については公開発表会当日の質疑応答時や予備審査時でのディスカッションを含め十分であると審査委員一同確認した。

学術論文は（[Tokura, H. Yamada, N. Kubo and S. Pullen, Positioning, Vol. 5, No. 04, pp. 85-96, 2014](#)）を含む2編が第一著者として公表済みであることを確認した。

学術論文は英語で書かれており、かつ、国際会議において英語で発表しており、英語の学力については問題ないと判断した。

また、講演発表は国際会議7回、国内学会7回実施していることを、確認した。

合同セミナーについて、規定の学習時間および出席回数を満たしていることを確認した。

大学院海洋科学技術研究科が指定した研究者倫理教育を修了していることを確認した。